

2018年度 大学院学生募集要項

工学研究科（博士前期課程・博士後期課程）
味・テイカ&デザの工学研究科（博士前期課程・博士後期課程）
情報科学研究科（博士前期課程・博士後期課程）
知的財産研究科（専門職学位課程）

■ 一般入学試験

■ 社会人入学選考

【目次】

◆ 試験（選考）日程……………P. 1	◆ 入学手続時納入金、在学中の学費および委託徴収金…………P. 17
◆ 募集研究科・入学定員……………P. 2	◆ 大学院の概要……………P. 18
◆ 一般入学試験要項 （工学研究科・味・テイカ&デザの工学研究科・情報科学研究科博士前期課程/博士後期課程）……………P. 2	◆ 大学院の奨学金制度……………P. 24
◆ 社会人入学選考要項 （工学研究科・味・テイカ&デザの工学研究科・情報科学研究科 博士前期課程）……………P. 7	◆ 長期履修制度 [知的財産研究科社会人のみ対象] ……P. 26
◆ 一般入学試験・社会人入学選考要項（知的財産研究科 専門職学位課程）……………P. 8	◆ 2018年度入試の成績開示について……………P. 27
◆ 出願手続……………P. 10	◆ 大学が取得する個人情報の保護について……………P. 27
◆ 受験票の交付……………P. 16	
◆ 合否発表……………P. 16	
◆ 入学手続……………P. 16	



学校法人常翔学園 大阪工業大学、摂南大学、広島国際大学、
常翔学園中学校・高等学校、常翔啓光学園中学校・高等学校

アドミッションポリシー

本学入試情報 Web サイトをご覧ください。

試験（選考）日程

研究科	試験(選考)名	試験(選考)日	出願期間	合否発表日	入学手続期間
工学研究科 味・香料&デザイン工学研究科 情報科学研究科	第1回 一般入学試験 社会人入学選考	2017年 7月1日(土)	2017年 6月13日(火) ～6月20日(火) 【締切日消印有効】	2017年 7月14日(金)	1次手続 2017年7月18日(火) ～7月25日(火) 2次手続 2018年3月12日(月) ～3月23日(金)
	第2回 一般入学試験 社会人入学選考	2018年 2月24日(土)	2018年 2月8日(木) ～2月14日(水) 【締切日消印有効】	2018年 3月8日(木)	一括手続 2018年3月12日(月) ～3月23日(金)
知的財産研究科	第1回 一般入学試験 社会人入学選考	2017年 7月1日(土)	2017年 6月13日(火) ～6月20日(火) 【締切日消印有効】	2017年 7月14日(金)	1次手続 2017年7月18日(火) ～7月25日(火) 2次手続 2018年3月12日(月) ～3月23日(金)
	第2回 一般入学試験 社会人入学選考	2017年 11月4日(土)	2017年 10月18日(水) ～10月24日(火) 【締切日消印有効】	2017年 11月17日(金)	1次手続 2017年11月20日(月) ～11月28日(火) 2次手続 2018年3月12日(月) ～3月23日(金)
	第3回 一般入学試験 社会人入学選考	2018年 2月24日(土)	2018年 2月8日(木) ～2月14日(水) 【締切日消印有効】	2018年 3月8日(木)	一括手続 2018年3月12日(月) ～3月23日(金)
	第4回 一般入学試験 社会人入学選考	2018年 3月10日(土)	2018年 2月26日(月) ～3月5日(月) 【締切日消印有効】	2018年 3月16日(金)	一括手続 2018年3月17日(土) ～3月23日(金)

募集研究科・入学定員

研究科	専攻	課程	入学定員	
工学研究科	建築・都市デザイン工学専攻	博士前期課程	30人	
	電気電子・機械工学専攻		50人	
	化学・環境・生命工学専攻		30人	
	合 計			110人
	建築・都市デザイン工学専攻	博士後期課程	2人	
	電気電子・機械工学専攻		2人	
	化学・環境・生命工学専攻		2人	
	合 計			6人
味ヱィ&ヱィ工学研究科	味ヱィ&ヱィ工学専攻	博士前期課程	30人	
		博士後期課程	2人	
情報科学研究科	情報科学専攻	博士前期課程	40人	
		博士後期課程	5人	
知的財産研究科	知的財産専攻	専門職学位課程	30人	

一般入学試験要項

(工学研究科・味ヱィ&ヱィ工学研究科・情報科学研究科 博士前期課程／博士後期課程)

1. 出願資格

課程	出 願 資 格
博士前期課程	<p>次の各項のいずれかに該当する者 ただし、第2回入試において、外国籍を持つ者の出願は日本国内居住者に限る。</p> <p>①日本国内の大学を卒業した者および2018年3月卒業見込みの者（法第102条） ②大学評価・学位授与機構により学士の学位を授与された者および2018年3月までに授与される見込みの者（施行規則第155条第1項第1号） ③外国において、学校教育における16年の課程を修了した者および2018年3月までに修了見込みの者（施行規則第155条第1項第2号） ④外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者および2018年3月までに修了見込みの者（施行規則第155条第1項第3号） ⑤我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校）を修了した者および2018年3月までに修了見込みの者（施行規則第155条第1項第4号） ⑥外国の大学その他の外国の学校において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者（施行規則第155条第1項第4号） ⑦指定された専修学校の専門課程（文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧）を修了した者および2018年3月までに修了見込みの者（施行規則第155条第1項第5号） ⑧旧制学校等を修了した者（昭和28年文部省告示第5号第1号～第4号、昭和30年文部省告示第39号第1号） ⑨防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者および2018年3月までに修了見込みの者（昭和28年文部省告示第5号第5号～第12号、昭和30年文部省告示第39号第2号） ⑩本大学院において個別の入学資格審査により認められた者で22歳に達した者および2018年3月までに達する者（施行規則第155条第1項第8号）</p>

課程	出 願 資 格
博士後期課程	<p>次の各項のいずれかに該当する者 ただし、第2回入試において、外国籍を持つ者の出願は日本国内居住者に限る。</p> <p>①修士の学位や専門職学位を有する者および2018年3月までに取得見込みの者（法第102条第1項） ②外国において、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者および2018年3月までに授与される見込みの者（施行規則第156条第1号） ③外国の学校が行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者および2018年3月までに授与される見込みの者（施行規則第156条第2号） ④我が国において、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学（大学院相当）日本校）を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者および2018年3月までに授与される見込みの者（施行規則第156条第3号） ⑤国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者および2018年3月までに授与される見込みの者（施行規則第156条第4号） ⑥大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本大学院において、修士の学位を有する者と同等の学力があると認めた者（平成元年文部省告示第118号） ⑦本大学院において個別の入学資格審査により認めた者で24歳に達した者および2018年3月までに達する者（施行規則第156条第6号）</p>

法：学校教育法 施行規則：学校教育法施行規則

2. 試験日時・場所等

区 分	研 究 科	日 時	場 所
第 1 回	工 学 研 究 科	2017年 7月1日（土）	10:00～
	味・テイク&デザイン工学研究科		大宮キャンパス
	梅田キャンパス		
	情報科学研究科	博士前期課程 9:30～ 博士後期課程 10:00～	枚方キャンパス
第 2 回	工 学 研 究 科	2018年 2月24日（土）	10:00～
	味・テイク&デザイン工学研究科		大宮キャンパス
	梅田キャンパス		
	情報科学研究科	博士前期課程 9:30～ 博士後期課程 10:00～	枚方キャンパス

- 【備考】1. 当日、試験開始20分前までに受験票に記載された場所に集合してください。
試験開始時刻から30分以上遅刻した場合は、受験を許可しません。
2. 試験（選考）会場となるキャンパスの所在地は本学Webサイトで確認してください。
<http://www.oit.ac.jp/japanese/access/index.html>
3. 公共交通機関の延着や事故により試験開始時刻までに到着できない場合は、入試部に連絡してください。入試部の電話番号は受験票に記載しています。

3. 選抜方法

次の各項を総合して選抜のうえ、合格者を決定します。

課 程	選 抜 項 目
博士前期課程	<p>①学科試験（P.4～6参照） ②面接試験[工学研究科、味・テイク&デザイン工学研究科は学科試験終了後 情報科学研究科は14:30～] ③書類審査（調査書・成績証明書、TOEICの成績）</p>
博士後期課程	<p>①面接試験 ②書類審査（調査書・成績証明書） 〔必要により筆記試験を行うことがあります〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 工学研究科電気電子・機械工学専攻機械工学コースにおいては、大学院で希望する研究テーマに関する15分程度の口頭発表を課すことがあります。 工学研究科電気電子・機械工学専攻電気電子工学コースにおいては面接諮問の開始時刻を16:00からとします。また、博士前期課程での研究内容と博士後期課程で行う予定の研究内容について、プレゼンテーション(20分)を課します。※試験当日に資料を持参すること（資料の様式は任意）。 情報科学研究科においては、博士前期課程での研究内容と博士後期課程で行う予定の研究内容のプレゼンテーション(20分)を課します。

研究科	専攻	コース	専修分野	午前	午後	
工学研究科	建築・都市デザイン工学	建築学	構造系	/	建築の基礎学力試験【配点：100点】 /12:50～13:30 専門試験【配点：300点】 /13:40～15:40 (建築史、建築計画、都市計画、建築環境工学、建築材料、建築構造、構造力学の7科目のうち3科目選択。) ※出願時に選択分野を指定すること。 面接試問【試験終了後実施】	
			生産系			
			環境系			
		計画系	建築設計【配点：100点】 /10:00～12:00	建築の基礎学力試験【配点：100点】 /12:50～13:30 専門試験【配点：200点】 /13:40～15:00 (建築史、建築計画、都市計画、建築環境工学、建築材料、建築構造、構造力学の7科目のうち2科目選択。) ※出願時に選択分野を指定すること。 面接試問【試験終了後実施】		
		英語試験は、TOEIC公開テストあるいはTOEIC IPテストの得点で評価する【配点：100点】。 (TOEIC公開テストあるいはTOEIC IPテストの得点は、出願最終日からさかのぼって1年以内の最高得点とする)				
	都市デザイン工学	以下の試験科目のうち、都市デザイン工学分野を志望する者は「専門試験(都市デザイン工学)」「小論文」「面接試問」を、環境工学分野を志望する者は「専門試験(環境工学)」「環境工学の基礎」「面接試問」を受験すること。 ※出願時に選択分野を指定すること				
		専門試験(都市デザイン工学)【配点：300点】 /10:00～12:00 (景観工学、計画学、構造力学、建設材料学、土質力学、水理学の6科目のうち3科目選択)			小論文【配点：100点】 /13:00～14:00 面接試問【試験終了後実施】	
		専門試験(環境工学)【配点：300点】 /10:00～12:00 (水環境、環境システム・計画、上下水道、廃棄物・バイオマス、資源・エネルギー、生物環境の6科目のうち2科目選択)			環境工学の基礎【配点：100点】 /13:00～14:00 面接試問【試験終了後実施】	
		英語試験は、TOEIC公開テストあるいはTOEIC IPテストの得点で評価する【配点：100点】。 (出願資格1.のうち2018年3月卒業見込みの者は現在籍大学入学から大学院試験実施日まで、その他の出願資格による者は大学院試験実施日以前3年以内に取得した最高得点とする)				
	電気電子・機械工学	電気電子工学	電磁気学【配点：50点】 /10:00～10:40 電気回路【配点：50点】 /10:40～11:20 電子回路【配点：50点】 /11:20～12:00			電気数学【配点：50点】 /13:00～13:40 面接試問【配点：50点】 /14:30～
英語試験は、TOEIC公開テストあるいはTOEIC IPテストの得点で評価する【配点：50点】。 (出願資格1.のうち2018年3月卒業見込みの者は現在籍大学入学から大学院試験実施日まで、その他の出願資格による者は大学院試験実施日以前3年以内に取得した最高得点)						

研究科	専攻	コース	午 前	午 後
工 学 研 究 科	電気電子 ・ 機械工学	機械工学	機械工学専門試験【配点：400点】 ／10：00～12：00 （材料力学、機械力学、熱力学、流体力学の4科目から出題し、それぞれの力学分野の配点は100点、合計400点とする。また、関数電卓を必ず持参すること）	面接試験【配点：100点】 ／13：00～
			英語試験は、TOEIC公開テストあるいはTOEIC IPテストの得点で評価する【配点：100点】。 （出願資格1.のうち2018年3月卒業見込みの者は現在籍大学入学から大学院試験実施日まで、その他の出願資格による者は大学院試験実施日以前3年以内に取得した最高得点）	
	化学・環境 ・ 生命工学	応用化学	化学英語【配点：50点】 ／10：00～11：00	基礎化学【配点：200点】 ／13：00～14：30 （無機化学、有機化学、物理化学、の3分野のうち2分野選択） 面接試験【試験終了後実施】
			英語試験は、化学英語の学科試験の他に TOEIC 公開テストあるいは TOEIC IP テストの得点でも評価する【配点：50点】。 （TOEIC 公開テストあるいは TOEIC IP テストの得点は、出願最終日からさかのぼって3年以内に取得したものとする）	
		環境工学	専門試験【配点：80点】 ／10：00～12：00 （水環境、環境システム・計画、上下水道、廃棄物・バイオマス、資源・エネルギー、生物環境の6科目のうち2科目選択）	環境工学の基礎【配点：40点】 ／13：00～14：00 面接試験【試験終了後実施】
	英語試験は、TOEIC 公開テストあるいは TOEIC IP テストの得点で評価する【配点：30点】 （出願資格1.のうち2018年3月卒業見込みの者は現在籍大学入学から大学院試験実施日まで、その他の出願資格による者は大学院試験実施日以前3年以内に取得した最高得点とする）			
	生命工学	生命工学	論述筆記【配点：150点】 ／10：00～11：30 必須2科目と選択3科目の計5科目 必須2科目（有機化学、生化学） 選択3科目（次の9科目から選択：遺伝子工学、微生物学、人体生理学、タンパク質工学、生体物性工学、エレクトロニクス、バイオメカニクス、食品化学工学、機能性食品学）	面接試験【配点：100点】 ／13：00～
			英語試験は、TOEIC 公開テストあるいは TOEIC IP テストの得点で評価する【配点：50点】 （出願資格1.のうち2018年3月卒業見込みの者は現在籍大学入学から大学院試験実施日まで、その他の出願資格による者は大学院試験実施日以前3年以内に取得した最高得点とする）	

研究科	専攻	コース	午 前	午 後
ロボティクス&デザイン工学研究科	ロボティクス&デザイン工学	マイクロ	論述筆記【配点：150点】 必須1科目と選択2科目の合計3科目 必須1科目（応用数学） 選択2科目（次の3科目から選択：制御工学、材料力学、電気回路） 各試験科目の内容については本学工学部ロボット工学科のシラバス（本学HPより参照可）を参照すること。なお、「応用数学」については「応用数学A」「応用数学B」の両方を、「制御工学」については「制御工学I」を出題範囲とする。 ／10：00～12：20	面接試問【配点：100点】
		ソフトウェア	英語試験は、TOEIC公開テストあるいはTOEIC IPテストの得点で評価する【配点：50点】。 （TOEIC公開テストあるいはTOEIC IPテストの得点は、出願最終日からさかのぼって3年以内の最高得点とする）	
		建築デザイン	小論文【配点：100点】 ／10：00～11：00	専門科目【配点：200点】 ／11：10～12：40 [デザイン、建築(計画系)、建築(構造系)の3科目のうち1科目選択] ※出願時に選択科目を指定すること。 面接試問【配点：100点】
		プロダクトデザイン	英語試験は、TOEIC公開テストあるいはTOEIC IPテストの得点で評価する【配点：100点】。 （TOEIC公開テストあるいはTOEIC IPテストの得点は、出願最終日からさかのぼって3年以内の最高得点とする）	
情報科学研究科	情報科学	(1) 数学（微積分学・線形数学）【配点：30点】／9：30～10：20 (2) 英語（出願時または試験当日に提出するTOEICの成績による）【配点：30点】 ※TOEIC公開テストあるいはTOEIC IPテストの得点で評価する。ただし、TOEICの得点は次の期間中の最高得点とする。 （出願資格1.のうち2018年3月卒業見込みの者は現在籍大学入学から大学院試験実施日まで、その他の出願資格による者は大学院試験実施日以前3年以内に取得した最高得点とする） (3) プログラミング（C言語）【配点：30点】／10：30～11：10 (4) 情報専門科目【配点：各15点、計60点】以下の全科目を解答すること ／11：20～13：00 ①データ構造とアルゴリズム ②計算機アーキテクチャ ③オペレーティングシステム ④情報通信ネットワーク 各試験科目の内容については本学情報科学部のシラバス（本学HPより参照可）を参照すること。なお、微積分学、線形数学、C言語、データ構造とアルゴリズムは各々「I」と「II」の2つの授業科目に分けて開講しているが、各試験科目ともこれらの両方を出题範囲とする。 (5) 面接試問【配点：30点】／14：30～		

社会人入学選考要項

(工学研究科・ロボティクス&デザイン工学研究科・情報科学研究科 博士前期課程)

【社会人入学選考の趣旨】

向学心旺盛な社会人に対して、大学院教育を行うことを目的とする。その選考にあたっては、社会人としての経験度、および希望する研究分野等に重点をおいて行います。

1. 出願資格

次の各項のいずれかに該当し、出願までに社会人として職を有した者。

なお、社会人としての業務内容・経験が、希望専攻分野に関連していることが望ましい。また、第2回入試において、外国籍を持つ者の出願は日本国内居住者に限る。

- ①日本国内の大学を卒業した者（法第102条）
- ②大学評価・学位授与機構により学士の学位を授与された者（施行規則第155条第1項第1号）
- ③外国において、学校教育における16年の課程を修了した者（施行規則第155条第1項第2号）
- ④外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者（施行規則第155条第1項第3号）
- ⑤我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校）を修了した者（施行規則第155条第1項第4号）
- ⑥外国の大学その他の外国の学校において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者（施行規則第155条第1項第4号）
- ⑦指定された専修学校の専門課程（文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧）を修了した者（施行規則第155条第1項第5号）
- ⑧旧制学校等を修了した者（昭和28年文部省告示第5号第1号～第4号、昭和30年文部省告示第39号第1号）
- ⑨防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者（昭和28年文部省告示第5号第5号～第12号、昭和30年文部省告示第39号第2号）
- ⑩本大学院において個別の入学資格審査により認められた者で22歳に達した者および2018年3月までに達する者（施行規則第155条第1項第8号）

法：学校教育法

施行規則：学校教育法施行規則

2. 選考日時・場所

区分	研究科	日時		場所
第1回	工学研究科	2017年7月1日（土）	10:00～	大宮キャンパス
	ロボティクス&デザイン工学研究科			梅田キャンパス
	情報科学研究科			枚方キャンパス
第2回	工学研究科	2018年2月24日（土）	10:00～	大宮キャンパス
	ロボティクス&デザイン工学研究科			梅田キャンパス
	情報科学研究科			枚方キャンパス

【備考】1. 当日、選考開始20分前までに受験票に記載された場所に集合してください。

選考開始時刻から30分以上遅刻した場合は、受験を許可しません。

2. 試験（選考）会場となるキャンパスの所在地は本学Webサイトで確認してください。

<http://www.oit.ac.jp/japanese/access/index.html>

3. 公共交通機関の延着や事故により選考開始時刻までに到着できない場合は、入試部に連絡してください。入試部の電話番号は受験票に記載しています。

4. 工学研究科電気電子・機械工学専攻電気電子工学コースについては面接開始時刻を15:30からとします。

3. 選考方法

次の各項を総合して選考のうえ、合格者を決定します。

選考項目
①面接試問
②書類審査（成績証明書、業歴書、出願理由書等）
・必要により基礎学力に関する検査を行うことがあります。
・工学研究科電気電子・機械工学専攻機械工学コースにおいては、現職務内容と大学院で希望する研究テーマに関する15分程度の口頭発表を課すことがあります。

一般入学試験・社会人入学選考要項（知的財産研究科 専門職学位課程）

【社会人入学選考の趣旨】

理論・応用力・実務力を兼ね備え、高い専門性を持つ知的財産実務のプロフェッショナルを育成します。

1. 出願資格

一般入学試験

次の各項のいずれかに該当する者

ただし、第3回および第4回入試において、外国籍を持つ者の出願は日本国内居住者に限る。

- ①日本国内の大学を卒業した者および2018年3月卒業見込みの者（法第102条）
- ②大学評価・学位授与機構により学士の学位を授与された者および2018年3月までに授与される見込みの者（施行規則第155条第1項第1号）
- ③外国において、学校教育における16年の課程を修了した者および2018年3月までに修了見込みの者（施行規則第155条第1項第2号）
- ④外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者および2018年3月までに修了見込みの者（施行規則第155条第1項第3号）
- ⑤我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校）を修了した者および2018年3月までに修了見込みの者（施行規則第155条第1項第4号）
- ⑥外国の大学その他の外国の学校において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者（施行規則第155条第1項第4号）
- ⑦指定された専修学校の専門課程（文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧）を修了した者および2018年3月までに修了見込みの者（施行規則第155条第1項第5号）
- ⑧旧制学校等を修了した者（昭和28年文部省告示第5号第1号～第4号、昭和30年文部省告示第39号第1号）
- ⑨防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者および2018年3月までに修了見込みの者（昭和28年文部省告示第5号第5号～第12号、昭和30年文部省告示第39号第2号）
- ⑩本大学院において個別の入学資格審査により認められた者で22歳に達した者および2018年3月までに達する者（施行規則第155条第1項第8号）

社会人入学選考

次の各項のいずれかに該当し、出願までに社会人として職を有した者

ただし、第3回および第4回入試において、外国籍を持つ者の出願は日本国内居住者に限る。

- ①日本国内の大学を卒業した者（法第102条）
- ②大学評価・学位授与機構により学士の学位を授与された者（施行規則第155条第1項第1号）
- ③外国において、学校教育における16年の課程を修了した者（施行規則第155条第1項第2号）
- ④外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者（施行規則第155条第1項第3号）
- ⑤我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校）を修了した者（施行規則第155条第1項第4号）
- ⑥外国の大学その他の外国の学校において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者（施行規則第155条第1項第4号）
- ⑦指定された専修学校の専門課程（文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧）を修了した者（施行規則第155条第1項第5号）
- ⑧旧制学校等を修了した者（昭和28年文部省告示第5号第1号～第4号、昭和30年文部省告示第39号第1号）
- ⑨防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者（昭和28年文部省告示第5号第5号～第12号、昭和30年文部省告示第39号第2号）
- ⑩本大学院において個別の入学資格審査により認められた者で22歳に達した者および2018年3月までに達する者（施行規則第155条第1項第8号）

法：学校教育法 施行規則：学校教育法施行規則

2. 試験（選考）日時・場所

区 分	日	時	場 所
第 1 回	2017 年 7 月 1 日（土）	10:00～	大宮キャンパス
第 2 回	2017 年 11 月 4 日（土）		
第 3 回	2018 年 2 月 24 日（土）		
第 4 回	2018 年 3 月 10 日（土）		

- 【備考】
- 当日、試験（選考）開始 20 分前までに受験票に記載された場所に集合してください。
試験（選考）開始時刻から 30 分以上遅刻した場合は、受験を許可しません。
 - 試験（選考）会場となるキャンパスの所在地は本学 Web サイトで確認してください。
<http://www.oit.ac.jp/japanese/access/index.html>
 - 公共交通機関の延着や事故により試験（選考）開始時刻までに到着できない場合は、入試部に連絡してください。入試部の電話番号は受験票に記載しています。
 - 仕事の関係で、選考日に都合がつかない場合は、選考日を変更できる場合がありますので下記連絡先までご相談ください（第 3 回、第 4 回社会人入学選考のみ）。
連絡先：知的財産研究科事務室 TEL. 06(6954)4163

3. 選抜（選考）方法

一般入学試験

合否の判定は、面接試問（外国人留学生等で、試験日当日に来学できない場合は高度メディアを使った遠隔面接でも可とする）に加えて、書類審査（成績証明書・小論文（エッセイ）等）により総合的に行います。

社会人入学選考

合否の判定は、面接試問（外国人留学生等で、試験日当日に来学できない場合は高度メディアを使った遠隔面接でも可とする）に加えて、書類審査（成績証明書・業歴書・小論文（エッセイ）等）により総合的に行います。

出願手続

1. 出願期間等

研 究 科	区 分		出 願 期 間	出 願 方 法
工 学 研 究 科 ロボティクス&デザイン工学研究科 情報科学研究科	第1回	一 般 入 学 試 験 社 会 人 入 学 選 考	2017年6月13日(火) ～6月20日(火)	【窓口出願】 取扱時間 13:00～16:00 【郵送出願】 出願期間最終日消印有効
	第2回		2018年2月8日(木) ～2月14日(水)	
知 的 財 産 研 究 科	第1回	一 般 入 学 試 験 社 会 人 入 学 選 考	2017年6月13日(火) ～6月20日(火)	
	第2回		2017年10月18日(水) ～10月24日(火)	
	第3回		2018年2月8日(木) ～2月14日(水)	
	第4回		2018年2月26日(月) ～3月5日(月)	

2. 事前相談

出願にあたっては必ず、修学等について事前相談を行ってください（知的財産研究科を志願する場合を除く）。

研 究 科	相 談 先
工 学 研 究 科	希望する専攻の大学院研究指導教員 (教員名等は工学研究科は P. 19～20、ロボティクス&デザイン工学研究科は P. 21、 情報科学研究科は P. 23 を参照)
ロボティクス&デザイン工学研究科	
情報科学研究科	

事前相談については、下記の研究科・学部・学科事務室までお問い合わせください。

研究科	専攻	コース	事 務 室	電 話 番	場 所	
工 学 研 究 科	建築・都市デザイン工学	建築学	建築学科事務室	06 (6954) 4206	大宮キャンパス	4号館3階
		都市デザイン工学	都市デザイン工学科事務室	06 (6954) 4109		4号館4階
	電気電子・機械工学	電気電子工学	電気電子システム工学科事務室 電子情報通信工学科事務室	06 (6954) 4228 06 (6954) 4286		5号館4階
		機械工学	機械工学科事務室	06 (6954) 4248		5号館3階
	化学・環境・生命工学	応用化学	応用化学科事務室	06 (6954) 4268		10号館8階
		環境工学	環境工学科事務室	06 (6954) 4375		[9月まで] 9号館2階 [9月以降] 東学舎2号館1階
		生命工学	生命工学科事務室	06 (6954) 4643		東学舎 2号館1階
ロボティクス & デザイン工学 研究科	ロボティクス & デザイン工学	メカトロニクス	ロボット工学科事務室	06 (6147) 6512	梅田キャンパス	12階
		ソフトロボティクス				
		建築デザイン	空間デザイン学科事務室	06 (6147) 6558		19階
		ファッションデザイン				

研究科	専攻	事務室	電話番号	場所
情報科学研究科	情報科学	情報科学部事務室	072 (866) 5301	枚方キャンパス 1号館1階
知的財産研究科 (※)	知的財産	知的財産研究科事務室	06 (6954) 4163	大宮キャンパス 1号館8階

※知的財産研究科を志願する場合、事前相談は出願の条件ではありません。

ただし、社会人で長期履修制度（P. 26～27 参照）を利用したいと考えている方は必ず事前相談をしてください。その他任意の事前相談も随時受け付けています。

3. 出願書類と入学検定料

①工学研究科・ロボティクス&デザイン工学研究科・情報科学研究科 博士前期課程

【マークの見方】○：必要 △：該当者のみ必要 ×：不要

出 願 書 類	一般入学	社会人入学	注 意 事 項	
志 願 票	○	○	<p>・ 所定用紙に自筆で正確に記入のうえ、事前相談を行った大学院研究指導教員に「事前相談確認印」欄に押印・署名してもらうこと。</p> <p>・ 写真1枚を貼付すること（裏面に氏名、志望専攻を記入）。</p> <p>※写真は、入学が許可された場合には、学生証用写真等に使用します。</p> <p>第1回、第2回一般入学試験および第1回、第2回社会人入学選考でそれぞれ用紙が異なるので注意すること。</p>	
受 験 票	○	○		所定用紙に必要事項を記入すること。
写 真 票 ・ 宛 名 票	○	○		<p>・ 所定用紙に必要事項を記入すること。</p> <p>・ 裏面に氏名、志望専攻を記入した写真1枚を貼付すること。</p>
調 査 書	○	×	<p>所定用紙を使用のうえ、出身大学（学校）長が作成・厳封したもの。</p> <p>※本学学生の場合、工学部の学生は教務課、ロボティクス&デザイン工学部の学生はロボティクス&デザイン工学部事務室、情報科学部の学生は情報科学部事務室で発行を依頼すること。</p>	
最終出身大学（学校）の成績証明書	○	○	<p>出身大学（学校）長が作成・厳封したもの。</p> <p>※出願資格を満たす証明書</p>	
最終出身大学（学校）の卒業（見込）証明書または学士の学位授与（申請予定）証明書	○	○	<p>出身大学（学校）長または学位授与機構が作成・厳封したもの。</p> <p>※出願資格を満たす証明書</p>	
入 学 検 定 料 (30,000円)	○	○	詳細はP.15「4.入学検定料の納入方法」を確認すること。	
選択科目（分野）届出書	△	×	<p>工学研究科 建築・都市デザイン工学専攻 博士前期課程または、ロボティクス&デザイン工学研究科 ロボティクス&デザイン工学専攻 博士前期課程 建築デザインコースまたはプロダクトデザインコース志願者のみ所定用紙に必要事項を記入すること。</p>	
TOEICの得点を証明するもの (公開テストまたはIPテスト)	○	×	<p>スコアレポートの取得期限については各専攻の「学科試験・科目」ページ（P.4～6参照）で確認ください。</p> <p>※TOEICスコア証明書類は試験当日にコピーを提出すること（拡大・縮小コピーでA4サイズにすること。試験当日、受験票に記載された集合場所にて係の者に提出すること）。また、志願票の「TOEICスコア証明書類」欄で「試験当日に提出」または「提しない」を選択し必ず記入すること。なお、試験当日に提出がない場合は未受験として扱う（TOEICによる評価は0点）。</p>	
出 願 理 由 書	×	○	A4判タテ型用紙に800字以内で作成（様式は任意とするが、氏名は必ず明記すること）。なお、裏面および複数枚の使用も可とする。	
業 歴 書	×	○	A4判タテ型用紙に、志願者がこれまでに携わった業務の経過を記入すること（様式は任意とするが、氏名は必ず明記すること）。	
学 費（入 学 金） 減 免 願 (本学園設置大学の卒業生・卒業見込者のみ提出)	△	△	所定用紙に必要事項を記入すること。	

- 【備考】
1. 出願書類はいずれも黒ボールペンを用いて記入してください。
 2. 出願書類の一部が不足している場合や写真の貼り忘れ、必要事項の未記入などがある場合は出願の受付ができませんのでご注意ください。
 3. 婚姻等で証明書と氏名が異なる場合は、旧氏名と現在の氏名が確認できる公的な証明書（原本）を提出してください。

※上記書類に加えて、外国人の方は以下の書類も提出してください。

- ・ パスポートのコピー
- ・ 在留カード（両面のコピー）[日本国内居住者のみ]

【マークの見方】○：必要 △：該当者のみ必要

出願書類		注意事項
志願票	○	<ul style="list-style-type: none"> ・所定用紙に自筆で正確に記入のうえ、事前相談を行った大学院研究指導教員に「事前相談確認印」欄に押印・署名してもらうこと。 ・写真1枚を貼付すること（裏面に氏名、志望専攻を記入）。また、TOEICを受験している者は、そのうちの最高得点を記入すること。 ※写真は、入学が許可された場合には、学生証用写真等に使用します。
受験票	○	所定用紙に必要な事項を記入すること。
調査書	○	<p>所定用紙を使用のうえ、出身大学長または大学院研究科長が作成・厳封したもの。</p> <p>※本学学生の場合、工学研究科の学生は教務課、ロボティクス&デザイン工学研究科の学生はロボティクス&デザイン工学部事務室、情報科学研究科の学生は情報科学部事務室で発行を依頼すること。</p>
出身大学の学部成績証明書	○	出身大学長が作成・厳封したもの。
出身大学院の博士前期（修士）課程修了（見込）証明書	○	出身大学長または大学院研究科長が作成・厳封したもの。
出身大学院の博士前期（修士）課程成績証明書	○	
入学検定料 (30,000円)	○	詳細はP.15「4.入学検定料の納入方法」を確認すること。
修士論文の概要	○	A4判タテ型用紙に2,000字程度で作成（様式は任意とするが、氏名は必ず明記すること）。なお、裏面および複数枚の使用も可とする。
希望する研究の方向	○	A4判タテ型用紙に400字程度で作成（様式は任意とするが、氏名は必ず明記すること）。なお、裏面および複数枚の使用も可とする。
宛名票	○	所定用紙に必要な事項を記入すること。
学費（入学金）減免願 (本学園設置大学院の修了者・修了見込者のみ提出)	△	所定用紙に必要な事項を記入すること。

- 【備考】
1. 出願書類はいずれも黒ボールペンを用いて記入してください。
 2. 出願書類の一部が不足している場合や写真の貼り忘れ、必要事項の未記入などがある場合は出願の受付ができませんのでご注意ください。
 3. 婚姻等で証明書と氏名が異なる場合は、旧氏名と現在の氏名が確認できる公的な証明書（原本）を提出してください。

※上記書類に加えて、外国人の方は以下の書類も提出してください。

- ・パスポートのコピー
- ・在留カード（両面のコピー）[日本国内居住者のみ]

出願書類	一般入学	社会人入学	注 意 事 項
志 願 票	○	○	<p>・所定用紙に自筆で正確に記入すること。</p> <p>・写真1枚を貼付すること（裏面に氏名、志望専攻を記入）。</p> <p>※写真は、入学が許可された場合には、学生証用写真等に使用します。</p>
受 験 票	○	○	所定用紙に必要事項を記入すること。
宛 名 票	○	○	所定用紙に必要事項を記入すること。
最終出身大学（大学院・学校）の成績証明書	○	○	出身大学（学校）長が作成・厳封したもの。 ※出願資格を満たす証明書
最終出身大学（大学院・学校）の卒業（見込）証明書または学士の学位授与（申請予定）証明書	○	○	出身大学（学校）長または学位授与機構が作成・厳封したもの。 ※出願資格を満たす証明書
入 学 検 定 料 (30,000円)	○	○	次ページ「4.入学検定料の納入方法」を確認すること。
小 論 文 (エッセイ)	○	○	<p>次の課題1か課題2のいずれかを選択し、1500字～2500字程度の小論文（エッセイ）を作成すること（A4用紙縦向き・横書きとし、冒頭に選択した課題番号と氏名を記入すること。記述はパソコン等での入力または手書きのいずれでもよい）。</p> <p>●課題1：知的財産に関しあなたが関心をもったテーマをひとつ取り上げて、①そのテーマの概要、②関心を持った理由、③そのテーマについてのあなたの考えなどを記述してください。</p> <p>●課題2：本大学院での知的財産に関する学修を通じて何を身につけ、その成果を自身の中長期的なキャリアにどのように活用したいと考えているかを、その理由とともに具体的に記述してください。</p>
業 歴 書	×	○	志願者がこれまでに携わった業務の経過をA4用紙に記入すること。なお、裏面および複数枚の使用およびパソコンでの作成を可とする。
学費（入学金）減免願 (本学園設置大学の卒業生・卒業見込者のみ提出)	△	△	所定用紙に必要事項を記入すること。

【備考】1. 出願書類はいずれも黒ボールペンを用いて記入してください。

2. 出願書類の一部が不足している場合や写真の貼り忘れ、必要事項の未記入などがある場合は出願の受付ができませんのでご注意ください。

3. 婚姻等で証明書と氏名が異なる場合は、旧氏名と現在の氏名が確認できる公的な証明書（原本）を提出してください。

※上記書類に加えて、外国人の方は以下の書類も提出してください。

- ・パスポートのコピー
- ・在留カード（両面のコピー）[日本国内居住者のみ]

4. 入学検定料の納入方法

①入学検定料：30,000円

②納入方法

本学所定の電信(テレ扱)振込依頼票(志願票と一連のもの)に必要な事項を記入のうえ、切り離さずに金融機関(郵便局・ゆうちょ銀行は不可)の窓口で納入してください(手数料必要。ただし、振込依頼票に記載の銀行本・支店から振り込む場合は手数料不要です)。振り込み手続き後、「志願票」・「検定料振込金受領書」を受け取り、それぞれに収納印が押印されていることを確認してください。なお、一旦納入された入学検定料は試験・選考を欠席した場合でも返戻しません。金融機関の窓口で、金融機関備え付けの振込依頼票に書き替えを求められた場合は、次の点に注意してください。

- 【注意】
1. 必ず電信(テレ扱)振込の用紙を使用し、必要事項を正確に記入してください。
 2. 振込先銀行、預金種目、口座番号は本学所定の「振込依頼票」に記載の2銀行のうち1銀行を選び、間違いないよう記入してください。
 3. 依頼人氏名フリガナ欄には、振込依頼票に記載の整理番号10桁を氏名の前に必ず記入し、打電するように金融機関に依頼してください。また、「志願票」・「検定料振込金受領書」にも必ず収納印を受けてください。検定料振込金受領書は志願者本人が保管してください。

5. 出願方法

①窓口出願

入学検定料を銀行振り込みした後、出願書類を一括して次の窓口へ持参してください。なお、入学検定料を現金で納入することはできません。

研究科	場 所	取 扱 時 間
工 学 研 究 科	入 試 部 (大宮キャンパス 6号館 14階)	13:00~16:00
味`ティクス&テ`ザ`イン工学研究科	入 試 部 (大宮キャンパス 6号館 14階) または 味`ティクス&テ`ザ`イン工学部事務室 (梅田キャンパス 7階)	
情 報 科 学 研 究 科	入 試 部 (大宮キャンパス 6号館 14階) または 情報科学部事務室 (枚方キャンパス 1号館 1階)	
知 的 財 産 研 究 科	入 試 部 (大宮キャンパス 6号館 14階)	

②郵送出願

入学検定料を振り込みしたのち、出願書類を一括して市販の封筒(別途本学 Web サイトから「宛名ラベル」をダウンロードして封筒表面に貼付すること)に入れ、入試部まで簡易書留速達にて郵送してください(締切日消印有効)。

6. その他

①身体に障がいのある方の受験について

身体に障がいがある方など、受験時や入学後の修学等において特別な配慮が必要な場合は、出願に先立ち入試部にご相談ください。相談申し出期限は下表のとおりです。なお、診断書の提出を求める場合があります。

②個別の入学資格審査について

各試験(選考)における工学研究科・情報科学研究科の博士前期課程の出願資格⑩および博士後期課程の出願資格⑥、⑦ならびに知的財産研究科の出願資格⑩により出願する場合、出願に先立ち入試部に申し出てください。個別の入学資格審査の要領をお知らせします。申し出期限は下表のとおりですが、できるだけ早めにご連絡ください。

【①・②共通申し出期限】

研究科	入 試 区 分	申 し 出 期 限
全 研 究 科	第1回一般入学試験・社会人入学選考	2017年6月1日(木)
知 的 財 産 研 究 科	第2回一般入学試験・社会人入学選考	2017年10月5日(木)
工学研究科・味`ティクス&テ`ザ`イン工学研究科・情報科学研究科	第2回一般入学試験・社会人入学選考	2018年1月19日(金)
知 的 財 産 研 究 科	第3回一般入学試験・社会人入学選考	
知 的 財 産 研 究 科	第4回一般入学試験・社会人入学選考	2018年2月9日(金)

受験票の交付

- ①窓口出願の場合 交付は入試部にて行い、交付期間については出願時にお知らせします（ロボティクス&デザイン工学部事務室で出願した場合は、ロボティクス&デザイン工学部事務室で、情報科学部事務室で出願した場合は、情報科学部事務室で交付）。ただし、郵送を希望される方には速達郵便で送付しますので、出願時に申し出てください。
- ②郵送出願の場合 出願書類の受付が完了次第、速達郵便で送付します。なお、試験（選考）日の3日前までに受験票が届かない場合は入試部までお問い合わせください。

合否発表

研究科	入試区分	合否発表日
全 研 究 科	第1回一般入学試験・社会人入学選考	P.1 参照
知 的 財 産 研 究 科	第2回一般入学試験・社会人入学選考	
工学研究科・ロボティクス&デザイン工学研究科・情報科学研究科	第2回一般入学試験・社会人入学選考	
知 的 財 産 研 究 科	第3回一般入学試験・社会人入学選考	
知 的 財 産 研 究 科	第4回一般入学試験・社会人入学選考	

- 【備考】1. 受験者全員に速達郵便で合否を通知します（欠席者には送付しません）。
 2. 掲示による合否発表は行いません。また、合否についての問い合わせには一切応じられません。
 3. 合否発表日から3日以上経って通知が届かない場合は、入試部までお問い合わせください。
 なお、問い合わせの際には、手元に受験票を用意してできる限り本人が連絡してください。

入学手続

1. 入学手続

- ①手続きの詳細な内容については、合否発表の際に合格者に対してお知らせします。
 ②それぞれの入学手続期間内に手続きを完了しない場合は、入学することができません。

研究科	入試区分	入学手続期間
全 研 究 科	第1回一般入学試験・社会人入学選考	P.1 参照
知 的 財 産 研 究 科	第2回一般入学試験・社会人入学選考	
工 学 研 究 科 ロボティクス&デザイン工学研究科 情報科学研究科	第2回一般入学試験・社会人入学選考	
知 的 財 産 研 究 科	第3回一般入学試験・社会人入学選考	
知 的 財 産 研 究 科	第4回一般入学試験・社会人入学選考	

2. 入学辞退

一旦、納入した入学手続時納入金および提出した入学手続書類は返還しません。
 ただし、納入後、やむを得ない理由で入学辞退を希望する者が、2018年3月31日（土）17:00〔必着〕までに、「入学辞退届」と「納入金領収書」を同封のうえ、本学入試部まで送付または持参した場合に限り、入学金相当額を除いた入学手続時納入金を返還します。
 詳細な内容については、合否結果通知書送付の際に同封する「入学手続案内」でお知らせします。なお、入学金および入学手続書類については、下記の入学辞退届出期限日時までに入学辞退の手続をされた場合でも返還しません。

入学辞退期限：2018年3月31日（土）17:00（本学必着または提出）

- 【注意】1. 「入学辞退届」の本学への着信または提出が2018年3月31日（土）17:00を過ぎた場合は入学手続時納入金（委託徴収金を含む）の返還はできません。
 2. 詳細については、「入学手続案内」にてお知らせします。

入学手続時納入金、在学中の学費および委託徴収金

■学費および委託徴収金

(単位：円)

研究科	項目	1年次所要経費		2年次以降 所要経費(年額)	
		入学手続時納入	10月納入		
工学研究科 ロボティクス&デザイン工学研究科 情報科学研究科	学費	入学金	150,000	—	
		授業料	500,000	500,000	
	合計	650,000	500,000	1,000,000	
	博士前期課程	学費	入学金	220,000	—
			授業料	470,000	470,000
		合計	690,000	470,000	940,000
知的財産研究科 専門職学位課程	学費	入学金	200,000	—	
		授業料	600,000	600,000	
		教育充実費	60,000	60,000	
	合計	860,000	660,000	1,320,000	

■委託徴収金

(単位：円)

研究科	項目	1年次所要経費	2年次以降
		入学手続時納入	所要経費(年額)
全研究科	振興費	10,000	10,000
	学生互助会費	3,700	3,200
	合計	13,700	13,200

振興費：大阪工業大学後援会、校友会等に対する援助費です。

学生互助会費：全学生による相互扶助の精神に基づく健康保持および福利向上を目的とする医療費給付等のための会費です。

【備考】1. 上記金額は2017年度のもので、2018年度の学費が決まり次第、合格者に対し通知します。

2. 消費税は課されません。

3. 上記の金額は、経済情勢の著しい変動があった場合、改定することがあります。

4. 知的財産研究科を対象とした長期履修制度があります。長期履修許可後の入学手続時納入金および在学中の学費等についてはP. 26～27をご確認ください。

5. 本学園設置大学および大学院の卒業・修了者(見込者含む)で出願時に「学費(入学金)減免願」を提出し、許可された場合は、入学金の半額が免除されます。

6. 本学園設置大学から引き続き大学院に入学する者の学生互助会費については、3,200円となります。

大学院の概要

本大学院には工学研究科・ロボティクス&デザイン工学研究科・情報科学研究科・知的財産研究科を設置しています。

＜工学研究科・情報科学研究科の目的＞

学部の教育の基礎の上に学術の理論およびその応用を教授研究し、その深奥を究めて文化の進展に寄与すること

＜ロボティクス&デザイン工学研究科の目的＞

工学的な知識・技術を人間中心の視点から活用し、持続可能で豊かな社会の形成や発展に貢献できる高度な専門職業人としての能力を培うこと

＜知的財産研究科の目的＞

学術の理論およびその応用を教授研究し、高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識および卓越した能力を培うこと

1. 沿革

1965年（昭和40年）	大学院を開設 工学研究科（土木工学専攻・建築学専攻・電気工学専攻・機械工学専攻・応用化学専攻）修士課程を設置
1967年（昭和42年）	工学研究科（土木工学専攻・建築学専攻・電気工学専攻・機械工学専攻）博士課程を増設 工学研究科（工業経営学専攻）修士課程を増設
1975年（昭和50年）	大学院設置基準の制定に伴い、工学研究科を博士課程の大学院に組織変更
1976年（昭和51年）	工学研究科工業経営学専攻を経営工学専攻と改称
1977年（昭和52年）	工学研究科（応用化学専攻）博士課程を増設
1991年（平成3年）	工学研究科（経営工学専攻）博士課程を増設
1995年（平成7年）	修士課程を博士前期課程と改称
1997年（平成9年）	工学研究科電気工学専攻を電気電子工学専攻と改称
2000年（平成12年）	情報科学研究科（情報科学専攻）修士課程を増設
2002年（平成14年）	工学研究科土木工学専攻を都市デザイン工学専攻と改称 情報科学研究科（情報科学専攻）博士課程を増設
2005年（平成17年）	知的財産研究科（知的財産専攻）専門職学位課程を増設
2007年（平成19年）	工学研究科（環境工学専攻・生体医工学専攻）博士課程を増設
2010年（平成22年）	工学研究科（空間デザイン学専攻）博士課程を増設
2017年（平成29年）	工学研究科（建築・都市デザイン工学専攻、電気電子・機械工学専攻、化学・環境・生命工学専攻）博士課程を増設 ロボティクス&デザイン工学研究科（ロボティクス&デザイン工学専攻）博士課程を増設

2. 工学研究科の概要

工学研究科には下表の3専攻があり、各専攻に博士課程を設置しています。

博士課程は前期2年の課程と後期3年の課程に区別され、前期2年の博士前期課程は修士課程として取り扱っています。

専攻	修業年限	課 程	
		2 年	3 年
建築・都市デザイン工学	博士前期課程	博士後期課程	
電気電子・機械工学			
化学・環境・生命工学			

博士前期課程は、広い視野に立って清深な学識を授け、専攻分野における研究能力または高度な専門性を要する職業等に必要の能力を養います。

博士後期課程は、研究者として自立して研究活動を行い、またはその他の高度に専門的な業務に従事するために必要な高度の研究能力、およびその基礎となる豊かな学識を養います。

◇学位の取得および修了要件

●博士前期課程

本大学院に2年以上在学のうえ所定の単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査および最終試験に合格した者に対しては、工学研究科委員会の議を経て修士（工学）の学位が授与されます。ただし、優れた業績をあげた者の在学期間に関しては、本大学院当該博士前期課程に1年以上在学すれば足りるものとします。また、当該博士前期課程の目的に応じ適当と認められるときは、特定の課題についての研究の成果の審査をもって修士論文の審査に代えることができます。

①課程修了の要件 下表の要件を充足すること

所属専攻の授業科目（注）	30単位
修士論文の審査	合格
最終試験	
大学院に2年以上在学	

（注）大学院研究指導教員が認めた場合、他専攻授業科目4単位まで選択科目として認めます。

②研究指導

当該専攻の指示に従って、指定された分野の中から1分野を選定し、これを自己の専修分野とします。

③教育職員免許状の取得

博士前期課程に教職課程を設けており、教職課程（工業）の認定を受けた大学を卒業した者が本大学院において次の要件を満たせば、『工業』の高等学校教諭専修免許状を取得することができます。

- (1) 博士前期課程を修了すること。
- (2) 出身大学において「日本国憲法」、「体育」、「外国語コミュニケーション」ならびに「情報機器の操作」に相当する授業科目の単位を各区分から2単位以上修得していること。
- (3) 大学院において所属専攻の所定科目から最低24単位を修得すること（対象科目の詳細は教務課に確認してください）。また学部において、職業指導A・B（4単位）、工業科教育法a・b（4単位）、「工業教科に関する科目」「教職に関する科目（数学科教育法a・b・c・d、理科教育法a・b・c・d、情報科教育法a・bを除く）」「教科又は教職に関する科目」から最低51単位を修得しておく必要があります。

●博士後期課程

博士後期課程に3年以上在学のうえ所定の単位を修得し、かつ、必要な指導のもとに研究業績をあげたうえ、博士論文の審査および最終試験に合格した者に対しては、工学研究科委員会の議を経て博士（工学）の学位が授与されます。ただし、優れた研究業績を上げた者の在学期間に関しては博士後期課程に1年以上在学すれば足りるものとします。

課程修了の要件

所属専攻の授業科目	12単位
博士論文の審査	合格
最終試験	
大学院に5年以上在学（博士前期課程修了者は、その在学期間2年を含む）	

（注）記載の内容は2017年度のものであります。

●2018年度大学院研究指導担当教授一覧（博士前期課程）

研究科	専攻	教員氏名
工学研究科	建築・都市デザイン工学	寺地洋之、本田昌昭、吉村英祐、岡山敏哉、岩崎義一、田中一成、西村泰志、宮内靖昌、井上晋、大山理、馬場望、笠原伸介、吉川真、林健治、青木一男、綾史郎
	電気電子・機械工学	小寺正敏、矢野満明、淀徳男、西壽巳、佐々誠彦、前元利彦、西口彰夫、原嶋勝美、周虹、小林弘一、木村紀之、森實俊充、大森英樹、加瀬渡、上田整、西川出、田原弘一、上辻靖智、桑原一成、羽賀俊雄、井原之敏、宮部正洋
	化学・環境・生命工学	野村良紀、中村吉伸、棚橋一郎、益山新樹、村岡雅弘、森内隆代、藤井秀司、松本政秀、渡邊信久、大澤利幸、駒井幸雄、宮本均、長田昭義、藤里俊哉、松村潔、芦高恵美子、川原幸一、大島敏久、中村友浩、金藤敬一、宇戸禎仁

※記載の内容は2018年度予定のものですが、変更になる場合があります。

●2018 年度大学院研究指導担当教授一覧（博士後期課程）

研究科	専攻	教員氏名
工学研究科	建築・都市デザイン工学	岩崎義一、田中一成、井上晋、大山理、岡山敏哉、寺地洋之、本田昌昭、吉村英祐、宮内靖昌
	電気電子・機械工学	大森英樹、木村紀之、森實俊充、加瀬渡、小林弘一、周虹、西口彰夫、原嶋勝美、小寺正敏、佐々誠彦、西壽巳、前元利彦、矢野満明、淀徳男、井原之敏、上田整、上辻靖智、加藤誠、桑原一成、田原弘一、西川出、羽賀俊雄、
	化学・環境・生命工学	野村良紀、中村吉伸、棚橋一郎、益山新樹、村岡雅弘、森内隆代、藤井秀司、松本政秀、渡邊信久、大澤利幸、長田昭義、藤里俊哉、松村潔、芦高恵美子、川原幸一、大島敏久、中村友浩、宇戸禎仁

※記載の内容は 2018 年度予定のものですが、変更になる場合があります。

3. ロボティクス&デザイン工学研究科の概要

ロボティクス&デザイン工学研究科にはロボティクス&デザイン工学専攻があり、博士課程を設置しています。博士課程は前期 2 年の課程と後期 3 年の課程に区別され、前期 2 年の博士前期課程は修士課程として取り扱っています。

博士前期課程は、工学的な知識・技術を人間中心の視点から活用し、持続可能で豊かな社会の形成や発展に貢献できる高度専門職業人を養成します。

博士後期課程は、工学的な知識・技術を人間中心の視点から活用し、持続可能で豊かな社会の形成や発展に貢献できるイノベーションリーダーを養成します。

◇学位の取得および修了要件

●博士前期課程

①[修了要件]

本大学院に 2 年以上在学し、所定の授業科目について 30 単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、修士の学位論文の審査及び最終試験に合格した者に対しては、ロボティクス&デザイン工学研究科委員会の議を経て修士（工学）の学位が授与されます。ただし、在学期間に関して優れた業績を上げた者については、1 年以上の在学で修了を認めることができます。また、本課程の目的に応じ適当と認められるときは、特定の課題についての研究の成果の審査をもって学位論文の審査に代えることができます。

②[履修方法]

1. 必修科目の『ロボティクス&デザイン工学特別研究』4 単位及び『文献研究』4 単位を含む、計 30 単位を修得すること。
2. 「学際分野」のうち、『インターンシップ』は修了単位に含めない。

③教育職員免許状の取得

博士前期課程に教職課程を設けており、教職課程（工業）の認定を受けた大学を卒業した者が本大学院において次の要件を満たせば、『工業』の高等学校教諭専修免許状を取得することができます。

- (1) 博士前期課程を修了すること。
- (2) 出身大学において「日本国憲法」、「体育」、「外国語コミュニケーション」ならびに「情報機器の操作」に相当する授業科目の単位を各区分から 2 単位以上修得していること。
- (3) 大学院において所属専攻の所定科目から最低 24 単位を修得すること（対象科目の詳細はロボティクス&デザイン工学部事務室に確認してください）。また学部において、職業指導 A・B（4 単位）、工業科教育法 a・b（4 単位）、「工業教科に関する科目」「教職に関する科目（数学科教育法 a・b・c・d、理科教育法 a・b・c・d、情報科教育法 a・b を除く）」「教科又は教職に関する科目」から最低 51 単位を修得しておく必要があります。

●博士後期課程

①[修了要件]

大学院に5年[博士前期課程(修士課程を含む、以下同じ)を修了した者は、本課程における2年の在学期間を含む]以上在学し、所定の授業科目について12単位を修得し、かつ、必要な指導のもとに研究業績を上げたうえ、博士の学位論文の審査及び最終試験に合格した者に対しては、ロボティクス&デザイン工学研究科委員会の議を経て博士(工学)の学位が授与されます。ただし、在学期間に関して、優れた研究業績を上げた者については、大学院に3年[博士前期課程を修了した者]にあつては、本課程における2年の在学期間を含む]以上在学すれば足りるものとします。

なお、下記イ～ニの示した事項により入学した場合の修了要件に関する在学期間については、「5年以上在学」を「3年以上在学」に、優れた研究業績を上げた者の在学期間については、「3年以上在学」を「1年以上在学」に置き換えることができます。

- イ 修士の学位を有する者
- ロ 外国の大学において、わが国の大学院修士課程に相当する学校教育を修了し、これにより修士の学位に相当する学位を有するもの
- ハ 文部科学大臣の指定した者
- ニ 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた場合で、24歳に達した者

②[履修方法]

「専門科目」4科目の中から12単位を修得すること。

●2018年度大学院研究指導担当教授一覧

専攻	課程	コース	教員氏名
ロボティクス&デザイン工学	博士前期課程 博士後期課程	メカトロニクス	井上雄紀、河合俊和、野田哲男、本田幸夫
		ソフトロボティクス	井上明、上田悦子、大須賀美恵子、小林裕之、松井謙二、脇田由実
		建築デザイン	福原和則、郡裕美、西應浩司
		プロダクトデザイン	宮岸幸正、細野幸敏

※記載の内容は2018年度予定のものですが、変更になる場合があります。

4. 情報科学研究科の概要

博士前期課程(修業年限2年)は、情報通信技術(ICT)時代の社会的ニーズに応えるため、国際的に通用する高度な知識と創造的な能力に富み、また企業家精神をもった情報技術専門職業人(高度技術プロフェッショナル)を育成します。そのため、「情報基礎」、「情報専門」、「実習」、「研究」の4つの各領域を設けています。博士後期課程(修業年限3年)は、更に一段高い情報科学の奥義を究める課程であり、大学・研究機関などで情報科学分野の第一線で活躍できる優れた研究者を養成すること、および社会人を再教育して高度専門職業人を養成します。そのため、「計算機工学・ソフトウェア領域」、「認識・情報メディア領域」、「情報システム・通信ネットワーク領域」の3つの特殊研究科目を複数開設しています。

◇学位の取得および修了要件

●博士前期課程

本大学院に2年以上在学のうえ所定の単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ修士の学位論文の審査および最終試験に合格した者に対しては、情報科学研究科委員会の議を経て修士（情報学）の学位が授与されます。ただし、優れた業績をあげた者の在学期間に関しては、本大学院当該博士前期課程に1年以上在学すれば足りるものとします。また、当該博士前期課程の目的に応じ適当と認められるときは、特定の課題についての研究の成果の審査をもって修士論文に代えることができます。

情報科学研究科（博士前期課程）の教育は、授業科目の授業および学位論文の作成等に対する指導によって行います。学生は主たる専門領域を選択し、その分野に所属するいずれかの教員を指導教員として履修全般について指導を受けるものとします。

①課程修了の要件 下表の要件を充足すること

授業科目	必修	a. 情報基礎領域「情報技術者と倫理」	1単位	30単位以上
		b. 研究領域「情報科学研究」	6単位	
	選択必修	c. 情報基礎領域（上記a.を除く）	5単位	
		d. 情報専門領域	10単位	
	選択	e. 上記a. b. c. d.を除く全ての科目	8単位	
修士論文の審査			合格	
最終試験				
大学院に2年以上在学 (ただし、優れた研究業績を上げた者の在学期間は1年以上在学すれば足りるものとする。)				

(注) 記載の内容は2017年度のものであります。

②カリキュラムの特徴

- クォーター制の導入
- 大学院1年次に、「院生発表会」を開くなど、研究を進める体制を強化
- 大学院2年次に、「修士論文中間発表会」を実施
- 学内PBL/国際PBLでのリーダーシップ的参加、海外研究/派遣に対して単位を付与
- 教養科目として「情報科学特論」を開講
- 「情報技術者と倫理」を開講（2015年度から）
- 招聘教員等による特別講義（短期集中型）で単位を付与

③教育職員免許状の取得

博士前期課程に教職課程を設けており、教職課程（情報）の認定を受けた大学を卒業した者が本大学院において次の要件を満たせば、『情報』の高等学校教諭専修免許状を取得することができます。

- (1) 博士前期課程を修了すること。
- (2) 出身大学において「日本国憲法」、「体育」、「外国語コミュニケーション」ならびに「情報機器の操作」に相当する授業科目の単位を各区分から2単位以上修得していること。
- (3) 学部の教職課程において、高等学校教諭一種免許状（情報）を取得するための要件について、コンピュータ科学科、情報システム学科、情報メディア学科、情報ネットワーク学科のいずれかの学科の要件を充足していること。
- (4) 大学院において専門科目から最低24単位を修得すること。ただし、一部対象外の科目（「情報科学特別講義A・B・C・D」、「インターンシップ」、「情報科学演習（学内）」「情報科学演習（海外）」、「英語プレゼンテーション」）がありますので、詳細は情報科学部事務室に確認してください。

●博士後期課程

博士後期課程に3年以上在学のうえ所定の単位を修得し、かつ、必要な指導のもとに研究業績をあげたうえ、博士論文の審査および最終試験に合格した者に対しては、情報科学研究科委員会の議を経て博士（情報学）の学位が授与されます。ただし、優れた研究業績をあげた者の在学期間に関しては博士後期課程に1年以上在学すれば足りるものとします。

課程修了の要件 下表の要件を充足すること。

特殊研究	12単位
博士論文の審査	合格
最終試験	
大学院に5年以上在学（博士前期課程修了者は、その在学期間2年を含む）	

(注) 記載の内容は2017年度のものであります。

●2018 年度大学院研究指導教員一覧

課程	専門領域・授業科目	指導教員
博士前期課程	情報専門領域	中西通雄、牧野博之、西浦宏幸、藤井研一、一森哲男、深海悟、須永宏、真貝寿明、河野克己、小堀研一、佐野睦夫、平山亮、神田智子、山内雪路、大島一能、塚本勝俊、松井進、横川美和、椎原正次、福澤寧子、鈴木基之、酒澤茂之
博士後期課程	計算機工学・ソフトウェア領域特殊研究	河野克己、中西通雄、深海悟、須永宏
	認識・情報メディア領域特殊研究	小堀研一、平山亮
	情報システム・通信ネットワーク領域特殊研究	一森哲男、福澤寧子、佐野睦夫、山内雪路、大島一能、真貝寿明、塚本勝俊、松井進、藤井研一

※記載の内容は 2018 年度予定のものですが、変更になる場合があります。

5. 知的財産研究科の概要

知的財産研究科専門職学位課程には、知的財産専攻を設けています。

専門職学位課程は、標準修業年限 2 年の課程で、イノベーションを支援するために必要な知的財産に関する知識・技能を備えるとともに、法律的素養、国際的な視野およびビジネス感覚をもった高度な専門職業人を養成します。また、職業や家事に従事しながら学修し易い環境を整備する目的で、入学から修了までの期間を長期（最長期間は 4 年）に設定して計画的に履修することができる「長期履修制度」を導入しています（詳細は P. 26～27 を参照）。

◇修了要件および学位の取得

2 年以上在学のうえ所定の単位（下表）を修得した者に対しては、知的財産研究科委員会の議を経て、知的財産修士（専門職）の学位を授与します。

必修科目	選択科目
6 単位 合否決定の審査に付される論文の作成を含む特別研究 4 単位を含みます。	34 単位 知的財産法基礎科目又は知的財産法応用科目から 2 単位以上、知的財産法実務科目から 2 単位以上、知的財産法保護実務科目から 2 単位以上、グローバル領域から 4 単位以上、ビジネス領域から 2 単位以上修得すること。
計 40 単位以上	

（注）記載の内容は 2017 年度のものです。

大学院の奨学金制度

給付制 **博士前期課程・専門職学位課程 対象** ※外国人留学生は除く

(1) 大学院社会人学生給付奨学金

選考対象	博士前期課程および専門職学位課程の全研究科・全学年
採用資格	本大学院の「社会人入学選考」または「社会人入学選考（秋入学）」に合格した在籍生で、特に経済的理由により奨学金の給付が必要であると認められる者
年 額	30 万円 ※修業年限 2 年の場合。長期履修制度適用者は異なる。
給付期間	1 年間（再出願可）
給付方法	前期および後期に分けて給付
募集時期	2018 年 4 月
採用定員	5 人（最大）

※ 募集は、入学後に説明会形式で行います。募集日時については後日大学ホームページ・掲示板等でお知らせします（2018 年 1 月頃を予定）。

(2) 大学院グローバル人材奨励給付奨学金

採用資格	本学の学内進学者および学内進学した在籍生で、出願時に TOEIC スコアが 550 点以上を有し、スコアレポートを提出できる者。但し、英語を母国語としていない者。
年 額	20 万円
給付期間	1 年間（在学時 1 回限り）
給付方法	前期および後期に分けて給付
募集時期	2018 年 4 月
採用定員	採用資格を有する者

※募集は、入学後に説明会形式で行います。募集日時については後日大学ホームページ・掲示板等でお知らせします（2018 年 1 月頃を予定）。

給付制 **博士後期課程 対象** ※外国人留学生は除く

大学院後期課程給付奨学金

選考対象	全研究科・全学年
採用資格	在籍生で、学業・人物ともに優秀で、特に経済的理由により奨学金の給付が必要であると認められる者
年 額	30 万円
給付期間	1 年間（再出願可）
給付方法	前期および後期に分けて給付
募集時期	2018 年 4 月
採用定員	7 人（最大）

※ 募集は、入学後に説明会形式で行います。募集日時については後日大学ホームページ・掲示板等でお知らせします（2018 年 1 月頃を予定）。

貸与制 **博士前期課程・専門職学位課程・博士後期課程 対象** ※外国人留学生は除く

日本学生支援機構奨学金（貸与制）

種別	第一種奨学金（無利子）	第二種奨学金（有利子）
対 象	すべての研究科・課程	すべての研究科・課程
月 額	専門職学位課程 5万、8.8万円から選択 博士前期課程 5万、8.8万円から選択	5万、8万、10万、13万、15万円から選択
	入学時特別増額貸与奨学金（有利子）10万、20万、30万、40万、50万円から選択 [初回交付時に上記の基本月額に増額する]	
貸与期間	4月から標準修業年限まで	4月～9月の間で希望する月から 標準修業年限まで
募集時期	①2017年9月 ②2018年4月	①2017年9月 ②2018年4月
2016年度採用実績	博士前期課程・専門職学位課程 86人 博士後期課程 1人	博士前期課程・専門職学位課程 46人 博士後期課程 0人

※1 ①は入学予定者に対し、入学前に日本学生支援機構が募集・選考を行う予約採用制度です。募集については、後日大学ホームページ・掲示板等でお知らせします

※2 ②は入学後に募集・選考を行います。①で不採用となった場合も改めて出願できます。

その他

その他の奨学金については、入学後に募集があれば、その都度、掲示板等でお知らせします。

奨学金に関するお問い合わせ先

奨学金に関するお問い合わせは下記にて受け付けています。

- | | | |
|----------------------|----------------------------|------------------|
| (1) 工学研究科・知的財産研究科 | 学生課（大宮キャンパス） | TEL 06-6954-4651 |
| (2) ロボティクス&デザイン工学研究科 | ロボティクス&デザイン工学部事務室（梅田キャンパス） | TEL 06-6147-6830 |
| (3) 情報科学研究科 | 情報科学部事務室（枚方キャンパス） | TEL 072-866-5301 |

長期履修制度 [知的財産研究科社会人のみ対象]

長期履修制度とは、働きながら（あるいは遠距離通学で）当大学院で学ぼうとする社会人の方々が、最長4年をかけて知的財産修士（専門職）の学位課程を修了することができるようにする制度です。

いずれの長期履修コースを選択しても授業料は正規の2年分と同じです（ただし在籍年数に応じて教育充実費が加算されます）。

1. 選択できる長期履修コース

3年または4年

2. 入学時納入金および在学中の学費等

長期履修コース（3年）

（単位：円）

項 目		1年次所要経費		2年次以降 所要経費（年額）
		入学時納入金	10月納入	
学 費	入 学 金	200,000	—	—
	授 業 料	400,000	400,000	800,000
	教 育 充 実 費	60,000	60,000	120,000
	合 計	660,000	460,000	920,000

長期履修コース（4年）

（単位：円）

項 目		1年次所要経費		2年次以降 所要経費（年額）
		入学時納入金	10月納入	
学 費	入 学 金	200,000	—	—
	授 業 料	300,000	300,000	600,000
	教 育 充 実 費	60,000	60,000	120,000
	合 計	560,000	360,000	720,000

- 【備考】
1. 上記金額は2017年度のもので、2018年度の学費が決まり次第、合格者に対し通知します。
 2. 消費税は課されません。
 3. 上記納入金のほかに、毎年14,000円程度の諸会費（年額）が必要です。
 4. 本学園設置大学および大学院の卒業・修了者（見込者含む）で出願時に「学費（入学金）減免願」を提出し、許可された場合は、入学金の半額が免除されます。
 5. 学費の金額は、経済情勢の著しい変動があった場合、改定することがあります。

3. 年間履修上限単位数

年限	年間履修上限単位数			
	1年目	2年目	3年目	4年目
3年	28単位	26単位	26単位	
4年	20単位	20単位	20単位	20単位

4. 申請手続き

長期履修学生を希望される方は次の書類を準備し、出願書類とともに本学入試部に郵送してください。

- ①長期履修学生申請書（入学願書掲載のWebページからダウンロード、プリントアウトしてください）
- ②長期履修が必要であることを証明する書類（在職証明書など）

※申請には教員との事前相談が必要です。事前相談を経て、教員により申請を認められた方のみ申請することができます。出願のための事前相談の際に教員に申し出てください。

5. 申請期間

出願期間中

6. 許可発表

許可者に対して、可否通知書類に長期履修許可書を同封して送付します。

7. その他

長期履修制度を利用して修了された方は、教育訓練給付制度の給付対象となりません。

教育訓練給付制度とは…

労働者や離職者が、自ら費用を負担して、厚生労働大臣が指定する教育訓練講座を受講し修了した場合、本人がその教育訓練施設に支払った経費の一部を支給する雇用保険の給付制度です。
(厚生労働省のホームページより引用)

長期履修制度に関するお問い合わせ先

知的財産研究科事務室 TEL 06 (6954) 4163

2018 年度入試の成績開示について

入試成績の開示を希望する者は、次の要領により受験者本人（法定代理人可）が入試部窓口で開示請求手続きを行ってください。なお、電話、郵便、Eメールでの請求には応じません。

(1) 開示請求期間

2018 年 4 月 16 日（月）～4 月 27 日（金）（日・祝日を除く 10 時～16 時）

(2) 開示方法・時期

2018 年 5 月末ごろ、入試部窓口にて請求者本人に入試成績通知書を交付します。

(3) 開示請求時に必要なもの

- ① 受験者本人を確認できる公的証明（運転免許証、パスポート、健康保険証など）または学生証・生徒証等。
なお、請求者が法定代理人の場合は、このほかに委任状および本人との関係が証明できる公的書類も必要。
- ② 印鑑
- ③ 受験票または合否通知書
- ④ 切手を貼った返信用封筒（入試成績通知書の郵送を希望する場合のみ）

大学が取得する個人情報の保護について

I. 大学が取得する個人情報の利用目的

入試実施のため取得する個人情報については、当該入試実施、入学までに必要な諸案内、学生福利厚生組織である(株)常翔ウェルフェアからの諸案内、学園情報の諸案内、各種統計資料作成のための個人を特定しない集計処理等に利用します。

II. 第三者への提供

法令に定める場合を除き、あらかじめ本人の同意を得ることなく、第三者に個人情報を提供することはありません。

III. 個人情報保護方針

学校法人常翔学園（本学の設置法人）が定めるプライバシーポリシーは、常翔学園 Web サイトで確認してください。

<http://www.oit.ac.jp/japanese/contents/privacy.html>